

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市立市民総合体育館他21施設および富田林市立総合スポーツ公園	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	ミズノグループ		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 2 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	c	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	c
	9 苦情への対応が適切である。	b	c
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	a
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
	12 自主事業の規模が適正である。	b	a
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	c	d
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	c	a
人員配置計画	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	b
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	各種研修を通して、利用者満足度の向上に資する対応力を高めるとともに、同一団体が一日あるいは一日の大半を使用できる状況に対策を施すことで、苦情対応並びに平等な施設利用に努められたい。	利用者満足度向上に向けた研修の実施。苦情対応についてははついては、改善された部分もあります。引き続き平等な施設利用について運営をお願い致します。
イ	自主事業については、利用者ニーズの把握や事業展開の工夫など、様々な検討を行い、利用者の増加を図るとともに、連携事業者との関係性を深め、計画通り行われるように取り組まれない。	コロナウイルスの影響により、自主事業の中止など計画通り実施されない状況である中、8月より委託業者と連携して事業を再開していただいています。
ウ	適切な修繕や人員配置をはじめとして、スポーツ施設全体のマネジメントを行っていることを鑑みた効果的な施設管理に取り組まれたい。	突発的な修繕を除き、優先順位をつけて計画的に取り組んでいただきました。

⑤評価者コメント

指定管理者	施設の管理運営において『安心・安全・信頼をお届けする』を念頭に置き、取り組んでまいりました。今年度はコロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染対策に取り組みながらの管理・運営となりました。利用者様には人数制限や検温・消毒など、様々な対策をご理解いただき安心して施設をご利用いただけたと思っております。コロナウイルスの終息はまだ見えませんが、その中でやるべきこと、やれることを見出し今後の運営に取り組んでまいります。
施設所管課	基本方針、行動規範、人員配置計画、人材育成、日常の安全管理については評価基準を満たしており適正に業務を行えています。改善要求点として指摘しました利用者満足度の向上、自主事業の利用者ニーズの把握、スポーツ施設の効果的な施設管理については改善していただきました。管理業務については、協定事項、仕様書等に基づき実施し、概ね適正な維持管理に努められた。収支報告の利用料金収入が目標金額を下回ったのは、新型コロナウイルスによる予期せぬ事態による影響と考えています。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)

	【千円】					
	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 2 年度	令和 2 年度	令和 2 年度
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	106,950	106,950	97,010	97,010	97,900	97,900
利用料金	30,700	31,549	32,160	30,280	32,920	25,360

2. 要求事項

市民総合体育館 稼働率	
要求水準	60.58 %
目標	63.03 %
実績	67.3 %

■③評価項目7と相關

青少年スポーツホール 稼働率		
要求水準	63.98	%
目 標	65.26	%
実 績	55.9	%

→③評価項目7と関連

津々山台第2テニスコート 稼働率		
要求水準	34.41	%
目 標	34.75	%
実 績	30.1	%

→③評価項目7と関連

中野テニスコート 稼働率		
要求水準	19.01	%
目 標	19.19	%
実 績	16.1	%

→③評価項目7と関連

総合スポーツ公園 多目的グラウンド(全面) 稼働率		
要求水準	41.21	%
目 標	41.62	%
実 績	31.0	%

→③評価項目7と関連

総合スポーツ公園 野球場 稼働率		
要求水準	67.60	%
目 標	68.28	%
実 績	58.7	%

→③評価項目7と関連

総合スポーツ公園 テニスコート 稼働率		
要求水準	54.08	%
目 標	55.16	%
実 績	47.3	%

→③評価項目7と関連

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	すばるホール	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	公益財団法人 富田林市文化振興事業団		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 2 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	a	a
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b
	9 苦情への対応が適切である。	a	a
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	d	d
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	a	a
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	24 市民参加型事業開催回数(要求事項)が要求水準に達している	d	d

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	施設の利用率・利用者数の向上を図るため、新たな利用形態の検討を進めるとともに、各種講座やイベント等の開催状況、施設の空き状況、代替利用の提案などを積極的に情報発信し、利用者の利便性向上や利用促進に努められたい。	新型コロナウイルス感染症対策のため、すばるホールの臨時休館や施設の貸出し制限(現在一部継続中)を行い、又、各種講座、イベントが開催できず、施設の利用率・利用者数が減少しているが、「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に従い、各種講座、イベントを再開し、貸館利用においても、上記ガイドラインをもとに提案を行い、利用促進に努めていく。
イ	各種研修で得られた成果や先進的な取組み事例などを今後の事業展開や施設の管理運営に積極的に活かすとともに、研修成果を職員、職場へ効果的に還元する仕組みを構築し、更なる利用者サービスの向上に取組まれたい。	新型コロナウイルス感染症対策のため、実地での研修が減少しているが、オンラインでの研修も増加しているため、積極的に参加していく。また、オンライン研修は、後日受講できる場合も多く、極力全職員が受講し、今後の事業展開にいかし、利用者サービスの向上に努めていく。
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	新型コロナウイルスの影響により、多数の事業の中止・延期を余儀なくされ、施設利用のキャンセルや変更等が相次いだ。臨時休館中も含め、変更、返金等の連絡事務や手続きに追われたが、利用者にも不利益とならないよう心のこもった対応に努めることで、トラブルを回避できた。オンライン配信事業にも積極的に取り組み、7事業10公演を開催し全国に発信。また、感染症対策を実施しながら開催可能なイベントを模索し、「コロナに負けるな！特別企画」として地域ではいち早く個人にホールのフルコンサーヴェアノを時間貸しする試みにも取り組んだ。当初予定になかった試みにも積極的に取り組み、年度後半では「すばるホールからみんなにエール！企画」としてホール独自の文化芸術割引プラン等を打ち出し利用促進にも取り組んだ。ワクチン集団接種会場に選定されたことで、予約済みの一般利用をお断りする必要が生じたが、丁寧な説明で利用者にも理解を得、今後集団接種会場としての運営に協力することで地域の安全に貢献する。
施設所管課	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、安全・安心な施設管理運営への業務改善、利用者の低迷や講座、イベントの自粛等による、収入の減少が当面続くこと見込まれ、経営環境が非常に厳しい中であるが、安定的、継続的な施設の管理運営に資するよう、職員一丸となり、創意工夫に努められたい。また、利用者ニーズの積極的な把握を進めるとともに、市民参加型事業を中心とした、多彩な文化事業の展開や幅広い周知に努め、市民文化の振興を図られたい。

[参考]

	平成 30 年度		令和 元 年度		令和 2 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	228,476	228,476	207,922	200,351	209,001	209,001
利用料金	58,400	56,005	58,400	52,929	58,600	28,478

【千円】

2. 要求事項

ホール・展示室・レセプションホール 稼働率 【対前年比1%増(参考:平成27～29年度 平均稼働率48.0%)】	
要求水準	49 %
目標	53.1 %
実績	36.6 %

→③評価項目7と相互

市民参加型事業開催回数 【5種類 20回以上】	
要求水準	5種類 20回
目標	6種類 20回
実績	4種類 13回 (参加型展示は77日間開催)

→③評価項目24と相互

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市市民会館	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	株式会社 アクティオ		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 2 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	a	a
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	a	a
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	b
	9 苦情への対応が適切である。	a	a
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	a	c
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
人員配置計画	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	a	a
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	地元ボランティア団体と協働して地域の方向けの無料講座を実施するなど、地域との交流については一定の評価ができるが、館を利用する団体自身が主体性を持って活動する場・機会の創出やバックアップ等、仕組みの構築に努められたい。	当初予定していた「ふらっとde親子ふれあいサークル」がコロナ感染症対策のため中止となり、令和2年度は団体のバックアップ活動を積極的に実施できなかったため、令和3年度に期待をする。
イ	個人情報の保護について、定期的な座学・テストを行うのみならず、ロールプレイング形式で行うなど、より効果的な形で研修を行っていくよう工夫をしていただきたい。	演習をメインとしたロールプレイング形式での研修を実施しており、評価できる。今後も継続して、様々な研修を効果的な形で実施して頂きたい。
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	昨年度に引き続きコロナ感染症対策に苦心した年でしたが、ネット抽選の本格稼働・キャンセル料還付の申請期限の大幅延長など、利用者の安全と利便性を第一とした運営を実施いたしました。コロナ禍における利用者の様々なご意見・ご要望に真摯に向き合っており、また衛生面を主とした修繕業務を行ってまいりました。コロナ禍における運営においては、利用率の低下、利用料金収入の減少に加え、事務手続きの煩雑化や利用率等の見通しが立たないなどの弊害が大きくなっており、利用者やスタッフの安全と健康を第一とするにはやむを得ないことと考えております。来年度もまた利用者・スタッフの安全・健康を第一とした運営に努めてまいります。
施設所管課	令和2年度は緊急事態宣言に伴う休館や利用時間の短縮が実施されたことで、利用率・利用者数、利用料金収入ともに大きく減少し、どれも目標値には達していない。しかしながら、スタッフがー丸となって行政との密な情報共有を行い、利用者の立場に立った対応を行うことで、利用者の混乱を防ぎ、各種手続きをスムーズに進めた点が非常に高く評価できる。また、施設利用可能期間における万全のコロナ対策、感染対策により、利用者に安心して利用をしてもらい取り組みや配慮を行う一方、休館中を利用した駐車場整備を行う等、コロナ禍というイレギュラーにも柔軟に対応しており、指定管理者としての手腕が発揮された年度と考えている。令和3年度も引き続きコロナ感染症対策に苦心した年でしたが、ネット抽選の本格稼働・キャンセル料還付の申請期限の大幅延長など、利用者の安全と利便性を第一とした運営を実施いたしました。コロナ禍における利用者の様々なご意見・ご要望に真摯に向き合っており、また衛生面を主とした修繕業務を行ってまいりました。コロナ禍における運営においては、利用率の低下、利用料金収入の減少に加え、事務手続きの煩雑化や利用率等の見通しが立たないなどの弊害が大きくなっており、利用者やスタッフの安全と健康を第一とするにはやむを得ないことと考えております。来年度もまた利用者・スタッフの安全・健康を第一とした運営に努めてまいります。

[参考]

【千円】

1. 実績値(直近3ヶ年)	平成 30 年度		令和 元 年度		令和 2 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	54,958	54,958	56,880	56,880	57,731	57,731
利用料金	20,800	16,505	19,568	15,042	19,830	11,664

2. 要求事項

市民センター 稼働率 【対前年比1%増(参考:平成27~29年度平均稼働率67.50%)】	
要求水準	68.9 %
目標	68.9 %
実績	55.4 %

⇒③評価項目7と相互

市民コミュニティの醸成	
目標	市民団体・地域団体等との連携事業の展開

⇒③評価項目3と相互

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市立コミュニティセンター	施設所管課	増進型地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 2 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	a
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	a	a
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
人員配置計画	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	a	a
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

		自己	担当課
その他	24 世代間交流に資する事業としての年間イベント数が要求水準に達している。	b	b

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	利用者の関心が得られるよう事業名称の工夫やニーズ把握のための情報収集等の利用者数増加策を検討して下さい。	対応：ニーズ把握については子どもアンケートを実施、利用者数増加策についてはアンケート結果をもとに企画立案を行う。評価：子どもアンケートをもとに、「きつずパラダイス」を企画。コロナの影響で実施できなかったが、意欲的に企画立案されていることが評価できる。
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	コロナ禍により地域住民、団体の活動意欲の低下が顕著であり、少しでも前向きに来館できる方法を模索してきました。そのような時期に市政でSDGs取り組まれた健康ポイント事業のモデル校区として立候補しました。呼びかけ募集を行った結果、想定より多くの皆さんにモニターになっていただき、新規利用者にも繋がっていきました。またコロナ禍により、人との交流が制限された為、『見える交流』をコンセプトに施設、利用団体のプロモーション動画を作成しイベントで常設上映・ホームページにアップするなど見える交流に努めてました。
施設所管課	年度を通じてコロナ禍の影響を大きく受けたといえる。4月・5月の休館や施設再開後においてもイベントの中止、利用人数制限など、貸館利用者数・及び浴場利用者数の目標数値を下回る事となったことは、一定やむを得ない部分もある。そのような中、新型コロナウイルス感染対策を徹底し、意欲的に工夫して事業の実施に努められた。特に健康ポイント事業のモデル校区として立候補し活動を行ったことや、互いの活動を知るツールを作成し、地域との「見える交流」を進める取組を実施されたことは評価できる。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)

	平成 30 年度		令和 元 年度		令和 2 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	41,252	41,252	41,522	41,522	41,591	41,591
利用料金	5,254	4,765	5,084	4,568	5,134	3,406

2. 要求事項

貸館 年間利用者数	
要求水準	45,000 人以上
目標	45,500 人以上
実績	28,924 人以上

➡③評価項目7と相關

浴場 年間利用者数		
要求水準	18,000	人以上
目 標	18,100	人以上
実 績	11,188	人以上

→③評価項目7と相関

世代間交流に資する事業としての年間イベント数		
要求水準	10	回以上
目 標	12	回以上
実 績	12	回以上

→③評価項目24と相関

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市立総合福祉会館	施設所管課	増進型地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 2 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書と提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	b
	3 地域との交流が図られている。	b	b
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	b	b
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
人員配置計画	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	b
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

		自己	担当課
その他	24 教室・講座の年間参加人数が要求水準に達している	d	d

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	イベント等のホームページでの周知や予約方法の改善による利用者サービスの向上策や、多様な高齢者へのアプローチを行い、施設利用者の利用拡大を図る仕組みについて検討してください。	対応: 貸館予約方法の改善(HP上で貸館情報を閲覧可にする)については、課題について検討中。多様な高齢者へのアプローチについては、社会情勢に応じて先駆的な講座を企画する。評価: 予約方法の改善について検討されており、評価できる。
イ	さまざまな職員が研修を受講できるよう、ジョブローテーションの活用なども組み合わせた効率的な勤務体制や研修形式について検討してください。	対応: 「非常勤職員も含めて担当職員全員が平等に受講できるように努める、重要な内容の場合は複数人(回)受講できるように努める。」 評価: 研修機会の確保についての姿勢は評価できる。
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	新型コロナウイルス感染者数の増加により、従来実施しているイベントが中止及び休館や貸館の人数制限等の対策を実施した結果、貸館・来場者数・及び浴場利用者数の目標数値を大きく下回りました。しかし、上記以外についても来場者の把握・検温・アルコール消毒等新型コロナウイルス感染対策の徹底や、川西幼稚園と協働し「メッセージカード付マスク」を敬老の日に配布し世代間交流を行った他、浴場設備等老朽化が著しい箇所の修繕を行い利用者満足度向上を図るなど、コロナ禍でも実施できる取り組みを積極的に行いました。
施設所管課	年度を通じてコロナ禍の影響を大きく受けたといえる。4月・5月の休館や施設再開後においてもイベントの中止、利用人数制限など制約を受けた。貸館・来場者数・及び浴場利用者数の目標数値を下回ることとなったことは、やむを得ない部分もある。そのような中でも、新型コロナウイルス感染対策を徹底し、施設の運営に努められた。コロナ禍でも実施できる取り組みとして川西幼稚園との協働や、特に評価できる点として浴場経年劣化部分への対応(シャワー更新・床と壁のクリーニング)により、利用者満足度の向上を図る取組が行われた。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)	【千円】					
	平成 30 年度		令和 元 年度		令和 2 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	50,399	50,399	48,838	48,838	50,380	50,380
利用料金	1,950	1,050	1,300	851	1,305	650

2. 要求事項

貸館 年間利用者数		
要求水準	45,000	人
目標	45,200	人
実績	21,315	人

➡③評価項目7と関連

浴場 年間利用者数

要求水準	13,000	人
目 標	13,050	人
実 績	6,061	人

→③評価項目7と相關

教室・講座の年間参加人数

要求水準	2,500	人
目 標	2,550	人
実 績	2,263	人

→③評価項目24と相關

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市ケアセンター	施設所管課	増進型地域福祉課
指定管理者名	ケアセンター管理運営共同事業体		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 2 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	b	b
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	c	c
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	b
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	令和元年度の老健施設の利用者数が達成目標に届いていないため、利用者数増加策を検討して下さい。	対応：入所については医療機関へ直接アプローチを行う、在宅復帰の実行について検討。通所についてはケアプラン事業者へ営業を行う、老健の役割である在宅復帰・在宅支援を強化するための方策について検討。評価：利用者増加のため具体的に行動されており、その姿勢は評価できる。
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者数及び利用料金収入が激減し、事業継続も困難を極めたが、経営環境が厳しい中、感染予防対策経費に充てるため、光熱水費等の契約体系の見直しや諸経費の削減に努めた。介護老人保健施設及び健康づくり世代間交流施設の2つの機能を持つ高齢者保健施設として運営していることから、職員への感染予防意識の徹底や利用者に対する感染予防対策により感染を防止できている。また、ウェルネス施設は、府内でもいち早く再開し、利用者の健康維持・増進に努めるとともに安全・安心な利用につなげた。
施設所管課	介護老人保健施設及び健康づくり世代間交流施設についてそれぞれが、年度を通じてコロナ禍の影響を大きく受けたといえる。通所・入所、ウェルネスなどの事業で目標数値を下回ることとなったことは、やむを得ない部分もある。介護老人保健施設の機能を持つという特性上、新型コロナウイルス感染対策の徹底によって施設の安全な運営に努められた。また、先の予測が難しい状況の中、指定管理者の工夫と努力により、府内でもいち早くウェルネス施設を再開できたことは、評価できるものである。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)

	【千円】					
	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 2 年度	令和 2 年度	令和 2 年度
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	133,099	129,714	127,907	127,907	124,410	124,410
利用料金	468,613	465,904	495,217	456,969	494,929	417,227

2. 要求事項

入所事業 年間利用延人数	
要求水準	25,000 人
目標	25,300 人
実績	22,084 人

➡③評価項目7と相關

通所事業 年間利用延人数		
要求水準	10,000	人
目 標	10,600	人
実 績	7,995	人

→③評価項目7と関連

ウェルネス施設年間利用者		
要求水準	75,000	人
目 標	75,800	人
実 績	41,418	人

→③評価項目7と関連

講座・教室の年間参加人数		
要求水準	21,000	%
目 標	21,200	%
実 績	11,586	%

→③評価項目7と関連

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林市農業公園	施設所管課	農とみどり推進課
指定管理者名	農事組合法人 富田林市南地区協同組合		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 2 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	c	b
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	a	a
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	c	b
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	c	c
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	d	d
人員配置計画	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	c
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	c	c
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	c	c
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	a

		自己	担当課
その他	24 別途料金が不要なイベント等の開催状況が要求水準に達している。	b	b
	25 にこにこ市場の利用者数(レジ件数)が要求水準に達している。	a	a

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	年間交流人口数の中で、有料入園者数の減少が、利用料金収入の低下に直結するため、先進施設の視察やコロナ禍での新たな取組み等、積極的に入園者数の増加に繋がる対策を実施してください。	【指定管理者回答】同類施設の先進事例を参考とするため、先進施設の視察を行い、入園者数の増加に繋げる対策を検討します。 ●引き続き指定管理者の取り組みを注視します。
イ	指定管理業務・自主事業の双方において、多くの費目で収支実績の決算額と当初予定金額が大幅に乖離しているため、適切に当初予定金額を定めてください。	【指定管理者回答】適正な収支計画の策定に努めます。 ●事業計画提出時の際の収支予算の確認をより慎重に行います。
ウ	緊急事態発生時、職員と事務所が確実に連絡の取れる方法を構築及び周知徹底して下さい。	【指定管理者回答】緊急事態発生時の連絡については、各部署ごとに責任者に携帯電話を貸与しています。またその他の職員については職員各自が自己の携帯電話を所持し業務にあたっていますので、それを活用し事務所に連絡を取るよう、周知徹底しています。 ●要求した改善点を充足したと評価します。

⑤評価者コメント

指定管理者	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止策として休園や一部イベントの中止又は社内行事(職員研修や消防訓練等)の中止を余儀なくされた。顧客の出控え等の影響も大きく厳しい年度となった。指定管理にあたっての要求項目のうち、無料のイベント開催は閉園期間を除いて達成、にこにこ市場のレジ件数についても大幅な超過達成となった。 令和3年度は感染防止対策の徹底を前提に入園者増加に繋がる新たな取り組みを行うとともに、にこにこ市場のレジ件数について、要求水準から引き上げた目標を設定するなど自主事業の充実を図る。
施設所管課	令和2年度は新型コロナウイルス感染症流行の大きな影響を受け、約2か月の休園期間やイベント等の取りやめにより、有料入園者数は35,130人と過去最低を更新しました。なお、第4期指定管理期間で新たに位置づけた2項目の要求項目のうち、無料イベント開催については、休園期間などのやむを得ない理由のある時期を除き達成、にこにこ市場のレジ件数についても達成しています。新型コロナウイルス感染症の影響を見通すことは困難ですが、感染のリスクが相対的に低いと考えられる屋外型施設の特徴を生かし、感染防止対策の徹底を前提に、有料入園者数の増加に繋がる、別途料金不要なイベント等の充実及び自主事業のさらなる充実を図ります。

【参考】

	【千円】					
	平成 30 年度		令和 元 年度		令和 2 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	99,396	99,396	97,300	97,300	97,300	97,300
利用料金	40,900	32,666	40,900	28,053	41,000	17,717

2. 要求事項

年間交流人口数(有料入園者数+無料入園者数+にこにこ市場レジ件数)		
要求水準	80,200+10,000+68,203=158,403	人
目標	80,200+10,000+68,203=158,403	人
実績	35,130+5,320+98,943=139,393	人

➡③評価項目7と相関

入園料以外の別途料金が不要な「イベント」及び「農にふれる体験」
を毎月2回以上開催

要求水準	2	回
目 標	2	回
実 績	2.4	回

→③評価項目24と相関

にこにこ市場の利用者数(レジ件数)
【対前年比1%増(参考:平成28~29年度 平均比 66858件)】

要求水準	68,203	件
目 標	68,203	件
実 績	98,943	件

→③評価項目25と相関

●指定管理者業務評価シート(3年目評価)

施設名	富田林市民プール	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	オーエンスグループ共同事業体		
指定期間(年度)	平成30年度 ~ 令和4年度	評価対象年度	令和 2 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者による『自己評価』及び施設所管課による『担当課評価』を実施し、その2つの評価結果を基に富田林市指定管理者選定委員会(以下、「委員会」という。)において、評価項目に対する評価及び総合評価を行う。

②評価基準

・自己評価及び担当課評価では小項目単位でa～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や自らの提案(実施計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」とする。
 ・委員会評価では、上記の2つの評価を基に委員会として1～10の10段階(10が最良)で評価を行う。点数の目安としては、業務仕様や提案内容を満たす問題のない管理運営がなされた場合に概ね70点とする。

③評価項目

		自己	担当課	委員会
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b	
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。			
	3 地域との交流が図られている。			
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b	
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。			
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b	
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。			
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。			
	9 苦情への対応が適切である。	b	b	
自主事業	10 利用者意見の把握が、積極的にされている。			
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている			
収支計画	12 自主事業の規模が適正である。			
	13 自主事業の実施状況が適切である。			
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。			
人員配置計画	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	c	d	
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a	
人材育成の考え方及び研修計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。			
危機管理策	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。			
	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。			

		自己	担当課	委員会
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b	
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a	
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b	
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a	

④改善要求点(2年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア		
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、当施設がリニューアルオープンし6年目(第2期3年目)となり、市民の皆様にも認知されてきた中で、新型コロナウイルス感染対策に伴い、営業を行わず閉場となりました。 令和2年度は次年度に向けて施設維持管理業務を行い、必要な点検・修繕を行いました。但し、次年度も新型コロナウイルス感染が終息しない可能性を踏まえ、消毒・入場制限・感染防止対策など考えられる課題を見つけ、利用して頂く皆様と共有できる対策を講じていきたい。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染予防のため令和2年度においては休場となったが、検討段階中には、開場となった場合の運営方法を複数パターン用意する、また、他市町村の開場状況参考に危機管理面を十分に考慮するなど、利用者の安全に関して熟慮する姿勢が窺えた。 施設維持業務や点検・清掃・修繕においても行っている。昨年に引き続き、施設の近隣町会である桜ヶ丘町会の行事の際に施設を駐車場として開放し、近隣住民からの草刈りの要望に応えるなど、地域との交流を図ろうとする姿勢が見られ、全体として評価できる結果となった。

⑥指定管理者選定委員会による総合評価

総合評価点数※	委員会講評
点 <small>(小数点第2位以下を四捨五入)</small>	

※ 各項目の得点の合計 ÷ [委員会評価項目数(11項目)×各項目の配点(10点)]×100

[参考]

【千円】

1. 実績値(直近3ヶ年)

	平成 30 年度		令和 元 年度		令和 2 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	16,800	16,800	16,800	16,800	16,972	5,160
利用料金	2,500	2,417	2,500	2,773	2,500	0

2. 要求事項

利用者数 (※自主事業として開場する期間を除く)	
要求水準	18,000人
目標	22,000人
実績	—

→③評価項目7と相互